

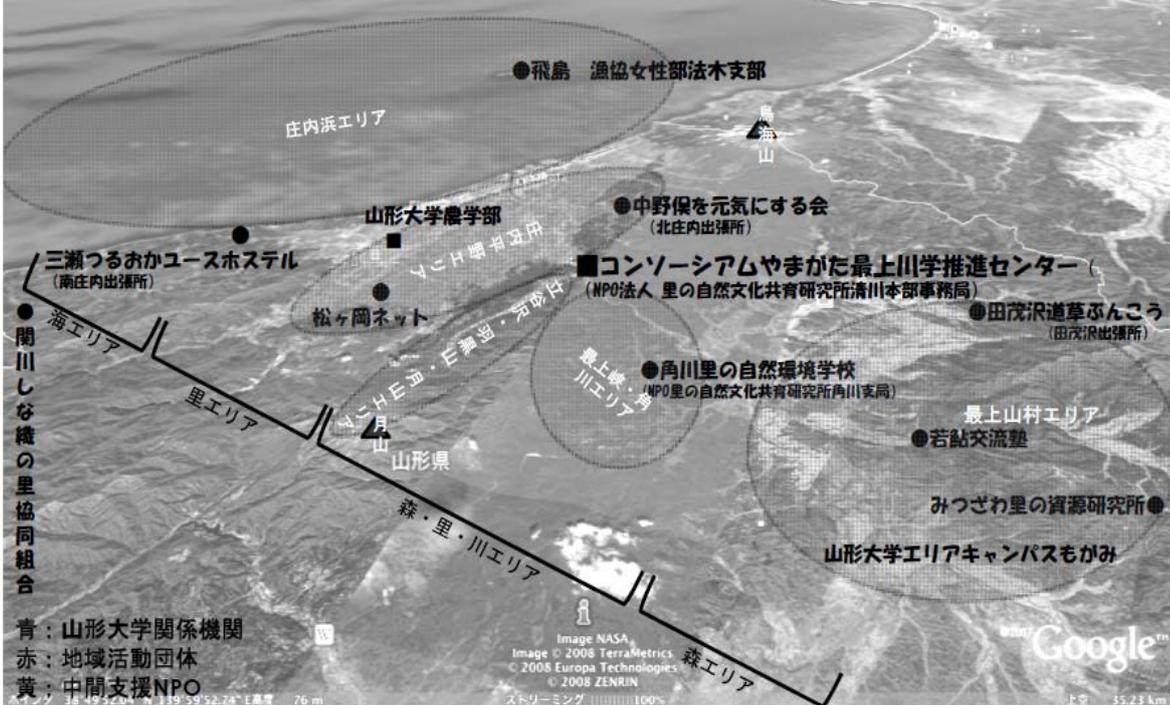
里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	国民的取組のための基盤づくり
手法名	最上川学プロジェクト:地域特性を活かし、かつ地域に貢献する研究プロジェクトの構築
主体	コンソーシアム山形(山形県内の大学連携組織)、地域づくり・教育NPO、自治体、企業とも連携。
背景 (地域の課題)	地方の里地里山の保全活用は、農山村の地域再生と不可分である。 山形は一県一河川流域という特徴をもつ。流域の生態系は、原生自然だけではなく、流域に暮らす人々の森里川海産業とともに改変され、維持されている。流域の自然や文化は農山漁村住民の暮らしの営みと織りなしいながら形成されている。しかしながら、社会経済の変化にともなって、そのような生業や暮らしの営みは忘れられようとしており、若者は都会に出て帰ってこず、このままでは、地域の活力は、地域らしさとともに衰退の方向に向かってしまう。
手法/方策の詳細	<p>山形の大学連携(コンソーシアム)において、「最上川学」を立ち上げた。目的には「流域の伝統を革新的に受け継ぎ保全し、現代に生かす」「農山漁村に若者たちが暮らし続けていける生業を作り出す」ことを掲げ、教育・研究のプロジェクトに加え、地域活性化プロジェクト、学生活動プログラムにも取り組んでいる。</p> <p>学生活動プログラムでは、将来の地域を担う若者が育っている。</p> <p>すでに、「最上川学サポーター」の学生が集まって、「NPO法人里づくり山形学生根っこワーク」を設立。最上川学でのさまざまなフィールドワークを通じて、将来の自分たちの「なりわい」をつくらうと活動を始めている。</p> <p>最上川学とは、最上川流域の自然と文化、農山漁村に暮らしてきた人々の知恵と技術から学ぶことを通じて、それを革新的に受け継ぎ21世紀に生かすべく新たな暮らしや産業のスタイルや生存環境の在り方を模索すること。地元農山漁村住民と協働連携しながら対等に運営される形で、共に学ぶ活動を展開し、調査研究を行う。</p> <p>*「大学コンソーシアムやまがた」は、平成16年4月に設立された、山形県内の大学・短期大学・高等専門学校・放送大学等の教育機関と山形県の連合組織。相互に連携し交流を図ることにより、山形県内の高等教育機関の充実・発展を図り、各大学の知的資源を有効に活用して地域社会に貢献することを目的として設立。地域のNPO組織や活動団体と連携協働しながら教育プログラムの開発や地域づくりプログラムを共に育んでいく、というもの。</p>
手法・技術的視点	地域をフィールドとした現場型・地域貢献に資する学術プログラムの創出、若者が地域を担う活躍の場と可能性の創出に、学生自らが携わることの出来るプロジェクトの意義は大きい。
<h3>最上川学プロジェクトのコンテンツ展開イメージ</h3> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>単位互換科目教育プログラム</p> <p>※全12単位を22年度から実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上川巡見・最上川俯瞰講義 ・最上川の匠たちに聞くⅠ・Ⅱ ・最上川の匠たちに出会うⅠ・Ⅱ </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学際的研究プロジェクト</p> <p>※各大学の連携する研究室が主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康分野 ・環境保全分野 ・教育・ビジネス・政策提言分野 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>地域活性化プロジェクト</p> <p>※コンソと連携する地域活動団体が主体</p> <p>コンソは側面的支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康の産品開発プロジェクト ・環境保全プロジェクト ・地域づくり・ビジネスプロジェクト </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学生活動プログラム</p> <p>※学生による地域活動の活性化と就職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上川学サポーター活動の拡充 ・NPO法人の設立 ・最上川ベンチャー起業の立ち上げ </div> </div>	
参考資料	里なび研修会in山形 山形大学准教授 出川真也

最上川学現地モデルプログラム運営エリア構想イメージ図(連携NPO・地域活動団体位置図)

大学の多様な力をつないで活用しながら地域の元気を作り出す！

各地域活動団体や中間支援NPOと連携協働しながら最上川学の運営と活動を進めていきます。



学生組織の発足

6月、最上川学プロジェクトをサポートする学生組織が発足

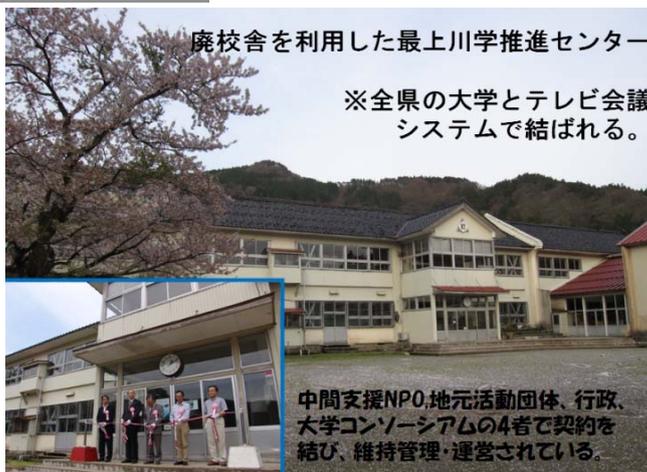


学内における勉強会の様子
活発な議論が交わされました

中核メンバーが12月に
「NPO法人里づくり山形学生横こワーク」を
設立

廃校舎を利用した最上川学推進センター

※全県の大学とテレビ会議システムで結ばれる。



中間支援NPO、地元活動団体、行政、
大学コンソーシアムの4者で契約を
結び、維持管理・運営されている。